事業番号

188

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

	事務事業	美名	子ども	医療扶助	事業						担当	当部	健康礼	富祉部
	会計区	分	一般:	会計			事業	類型	_	般	担旨	当課	保険	丰金課
	事業期間		平月	成12年度じ	前	~	平成30年度以降		降	担当係		医療係		
	総合計画 主目的		3	保健福祉		11 地域	医療		5	国民健康	保険事業	・公費助	成医療の	適正な運営を図る
	分野別計 画	副目的		12-3										
	予算区分		款	3	項	1	目	3	3	大	;	3	中	1
	根拠法令・個	別計画	小牧ī	小牧市医療費の支給に関する条例										
		1.334	0	市が直接実	『施・道	運営		地域值	主民組	織		一部	又は全	:部委託
事	実施•運 方法	'呂'		指定管理・	外郭回	団体	名称:							
				NPO・そ	の 作	也	名称:							
業	目的													
	(対象をど			もを産み育で 担分を助成 ⁻										
0	な状態にするのか)		己負担分を助成することで子どもが必要な医療を受けられるようにし、保護者の経済的 負担の軽減を図る。											
概														
			/\\# / /7	市に住所の	なる⑴	5 告 任 由 士士	きでのご	ヱビ±╷	1-医使	建 二	经老哥	፤	行 太I	三谷子の
要			資格	管理を行った	c。県	内医療機関	におけ	る保険	食診療	の自己	已負担	分は、	現物	給付で、県
	中本			寮機関での と整、はり・タ										
	内容 (手段)		養費。	との調整を行	テい、	医療費の適	正化を	図った	÷.					
				学校入学ま										
				県補助対象 査支払手数								即对》	家の現	物給付分
	受益者負	担	無	内容										

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
		直接	経費	千円	678,994	708,208	793,646
		正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00
コ		正嶼貝	人件費	千円	5,365	5,365	5,365
	費用	7 A /L III P	従事者数	人	0.90	0.80	0.80
ス		その他職員	人件費	千円	1,359	953	2,657
		費用	合計	千円	685,718	714,526	801,668
7		対前	年比	%		104.2	
		一般財源		千円	522,952	534,397	598,233
	財源	国·県支出金		千円	162,766	180,129	203,435
	•	その他	也財源	千円	0	0	0

	活	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		受診件数		目標			_
		文部件数	件	実績	319,965	340,284	
ATTA	動指標	受給者数		目標			22,300
業	標	文和省数	人	実績	22,424	22,320	
				目標			
				実績			
績	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23
		受診件数	件	目標			
		又砂仟奴		実績	319,965	340,284	
	標			目標			
				実績			

	事業目的の 達成状況	受給者数は、減少しているが、受診件数は、増えている。子どもの医療費自己負担分を 助成することにより、子どもを育てる保護者の経済的負担が軽減され、子どもが必要な 医療を受けられている。						
事業の自己評	事業を廃止・ 休止したとき の影響	中学校3年生までの入院医療費、小学校就学までの通院医療費助成は、県との補助制度である。小学校1年生から中学校3年生までの医療費助成制度は、市単独事業であるが、県内各市町村では、対象年齢を引上げるなど、市単独事業として、拡大傾向にあるため、事業を廃止すると近隣市町との均衡がとれなくなる。また、経済的な負担からそどもが安心して必要な医療が受けられなくなる危険性がある。						
価	判 定	В	市が実施(改善が必要)					
(一次評価)	判定理由	療養費や償還払いの審査事務を専門機関に委託し、より適正な医療費の助成が必要ある。また、入力作業も委託することにより、効率的に事務がすすめられるため、改善が必要と判断した。						
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)		Eから柔整、鍼灸等療養費や償還払い申 費の助成を図る。	請の審査事務を業務委託して、より				

11	判	定	В	市が実施(改善が必要)	-
次評価	判定	理由	一次評価の) とおり	